

# 認知症について

平成29年度 法人必須研修

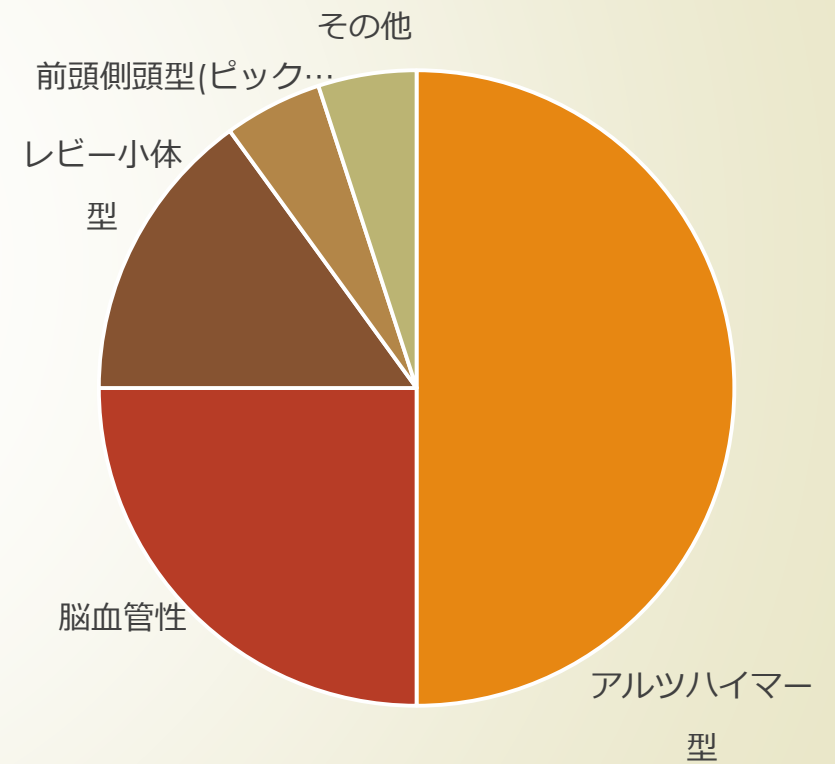
昴 河野 隆之

# 認知症とは

- 脳や身体の疾患が原因として、記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活が送れなくなった状態
- 認知症は脳の病気で原因となる病気によって症状は様々

# 認知症を引き起こす病気の割合

- ➡ 認知症の分類は右のグラフの通りで
  - 「アルツハイマー型」
  - 「脳血管性」
  - 「レビー小体型」が3大認知症と呼ばれる



# 認知症の分類 I

## ▶ アルツハイマー型認知症

### ● 特徴

- ・脳の委縮が出現
- ・神経伝達物質のアセチルコリンが減少

### ◆ 経過

- ・中核症状がまんべんなく出現する(健忘症、多動、徘徊、失見当等)
- ・時間経過とともに失語、失認、錐体外路障害が出現

### ■ 症状

- ・中核症状がまんべんなく見られる
- ・昔の記憶はある程度残存することが多い
- ・環境の変化や周囲の状況によってBPSDが出現する

### ★ 対応

- ・遠隔記憶や手続き記憶は比較的保たれることが多い
- ・昔馴染んだ環境やその方の記憶を活かしたレクや活動に参加することで自分の居場所を再認識できる

# 認知症の分類Ⅱ

## ▶ レビー小体型認知症

### ● 特徴

- ・ 大脳皮質にレビー小体(変異型タンパクを含む沈殿物)が広範囲に出現

### ◆ 経過

- ・ パーキンソン様症状(動作緩慢、前傾歩行、小刻み歩行、関節のこわばり)
- ・ 幻視、認知症様症状

※パーキンソン様症状が先に出現する場合と幻視、認知症様症状が先に出てくる場合がある

### ■ 症状

- ・ パーキンソン様症状
- ・ 日や時間によって症状にバラつきがある(日差、日内変動)
- ・ はっきりとした幻視、妄想

### ★ 対応

- ・ いい時悪い時の変動が激しく、調子が悪くなるとほとんど身動きが取れないことがある
- ・ 状態が良い時と悪い時の対応をはっきりと変えることが必要

# 認知症の分類Ⅲ

## ➡ 脳血管性認知症

### ●特徴

- ・脳血管障害により脳が部分的にダメージを受ける

### ◆経過

- ・脳血管障害の発症
- ・物忘れや理解力の低下
- ・脳血管障害の発症
- ・さらなる機能の低下

※何年か同じような状態が続いたと思ったら急に機能低下する。緩やかに進行するアルツハイマー型と比べ、階段状の悪化が見られる

### ■症状

- ・混乱しやすい
- ・集中力や注意力の低下
- ・人によっては強い葛藤やストレスを感じる

### ★対応

- ・抑うつ気分や意欲低下がみられ消極的になり生活の不活性化が見られる為、本人に役割を与えたり、活動への参加を促すことで廃用性の機能低下を防げる

# 認知症の症状

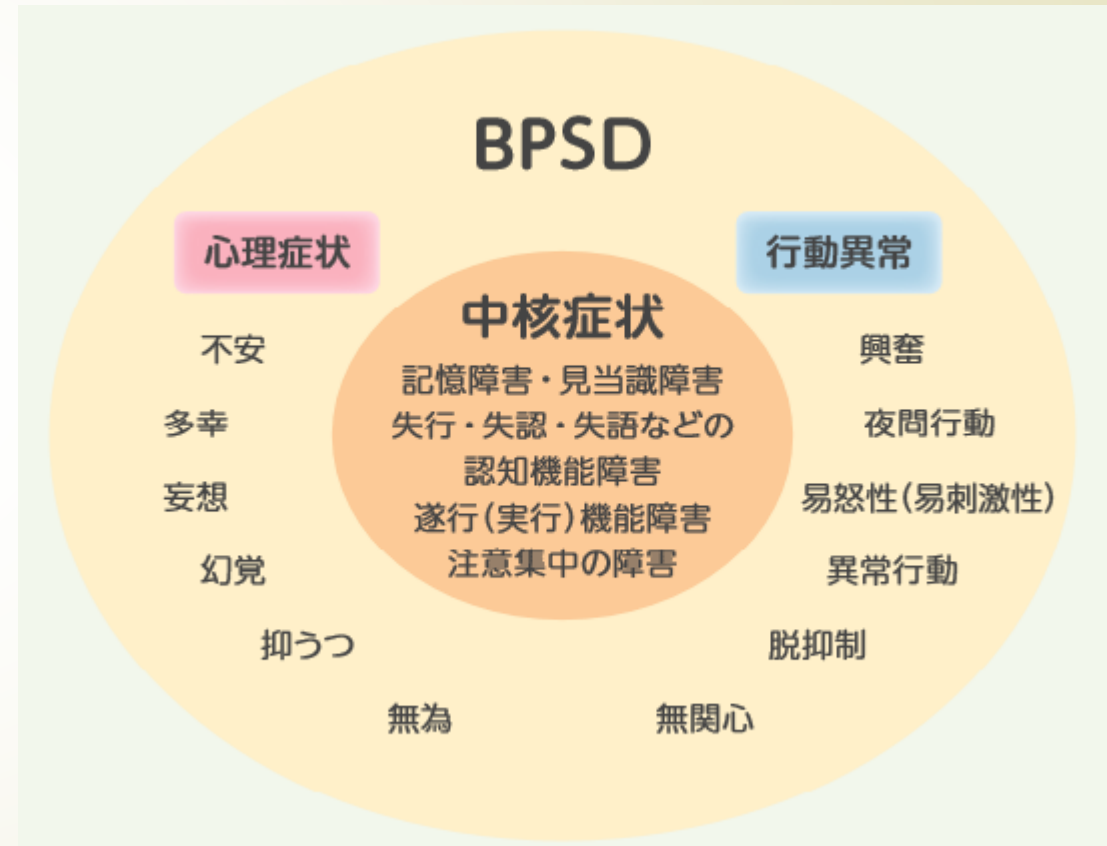
## ➤ 中核症状

- ・脳の神経細胞の障害によって起こる症状で認知症の初期からほぼすべての人に認められる症状

## ➤ 行動・心理症状(BPSD)

- ・認知症に伴って出現する行動や心理的な症状
- ・心理的な症状 ⇒ 不安、妄想、抑うつ等
- ・行動症状 ⇒ 興奮、易怒性、脱抑制等

※記憶障害が認知症の代表的な症状とされているが、本人のQOLや家族の負担という点で考えると、BPSDによる影響の方が大きい事もある



# 中核症状 ～記憶障害～

## ▶ 時間区分によるもの

- i) 即時記憶  
⇒1分間前後
- ii) 近時記憶  
⇒数分間～数か月保持される記憶
- iii) 遠隔記憶  
⇒数か月以上保持される記憶

## ▶ 記憶内容によるもの

- i) エピソード記憶  
⇒出来事の記憶
- ii) 意味記憶  
⇒一般常識や歴史的事実等の記憶
- iii) 手続き記憶  
⇒体で覚えた記憶



# 中核症状 ～見当識障害～

- ▶ 「時間」「場所」「人物」を認識する事が難しくなる
  - ・ 今日は何日なのか
  - ・ 今どこにいるのか
  - ・ 目の前にいる相手が誰なのか

進行に伴い順番に  
分からなくなる

# 中核症状 ～理解・判断力の障害～

- ▶ 物事を思考するスピードが遅くなる
- ▶ あいまいで抽象的な表現を理解できなくなる
- ▶ 普段と異なる出来事があると混乱してしまう

# 中核症状    ～実行機能障害～

- ▶ 普段当たり前前にしていた行動の段取りが出来なくなる
- ▶ これまで難なくできていた仕事や家庭でミスを連発する
- ▶ 同時に複数の事を行えない

# 中核症状 ～感情表現の変化～

- ▶ すぐ怒ったり、笑ったり、泣いたりする
- ▶ 態度や行動が子供っぽくなる
- ▶ 場違いな行動や発言をしてしまう

# 中核症状 ～失語・失行・失認～

## ▶ 失語

- ・「聞く」「話す」「書く」「読む」という、自分の言いたいことを言葉で表す言語機能が低下

## ▶ 失行

- ・手足の麻痺等が無いにも関わらず、脳の障害の為に簡単な日常的な動作が出来なくなる症状

## ▶ 失認

- ・目や耳など、物事を見たり聞いたりする機能自体に問題がないのに、物事を正しく認識できなくなる

# 加齢と認知症の物忘れの違い

## 加齢による物忘れ

物忘れを自覚している

体験したことの一部を忘れる

ヒントがあれば思い出す

日常生活に支障はない

判断力は低下しない

## 認知症による物忘れ

物忘れの自覚がない

体験したこと自体を忘れる

ヒントがあっても思い出せない

日常生活に支障がある

判断力が低下する


# 認知症の予防方法 & 治療方法

## ● 予防方法

- ▶ バランスのとれた食事を心がける
- ▶ 定期的な運動を取り入れる
- ▶ 人と積極的に交流する
- ▶ 知的な行動を意識した生活をする
- ▶ 十分な睡眠をとる

## ● 治療方法

- ▶ 生活習慣の見直し
- ▶ 薬による療法
- ▶ リハビリテーション



# 認知症 ～キーワード～

- ▶ バリデーション
- ▶ パーソンセンタードケア
- ▶ ユマニチュード



# 認知症ケアのポイント

## ▶ 健康管理

- ・ 「何かいつもと違う」 「ちょっとおかしい」

## ▶ 観察

- ・ 5W1H

## ▶ 五感を使う

- ・ 脳の活性化

# 認知症 ～まとめ～

